

学校教育目標 未来を創造し、優しく、賢く、たくましく他者と協働できる生徒

1. 重点目標	2. 達成指標	3. 重点的取組	4. 取組指標	取組指標に基づく取組状況		重点目標達成に近付いたか		2学期に向けた改善
				取組指標判断基準	アウトプット評価(教師等の取組)	達成指標の達成度	アウトカム評価(子どもの姿)	
<b>&lt;知&gt;</b> <b>全員の学</b> <b>力ワンラ</b> <b>ンクアッ</b> <b>プ</b>	①授業がわかると肯定的に答えた生徒が90%以上になる。(前年79%) ②定期テストで教師の設定した期待値(平均)を60%の生徒が上回る。	学校 家庭 地域	(1)「新大分スタンダード」に基づく、課題とまとめ、めあてとふりかえりのある授業の徹底 毎時間実施	A: 毎時間実施 B: 80~99%実施 C: 70~79%実施 D: 70%未満	●ほとんどの教員が意識して取り組めている	①「授業内容ができて」と回答 1年90% 2年71% 3年77% 全79%	①全教職員で授業改善を進めているが、「授業がわかる」と答えた生徒は79%と前年度と変わらず、成果として表れていない。 ②全教科平均で期待値を達成した生徒の割合 1年57% 2年42% 3年55%	①今後も「新大分スタンダード」およびアクティブラーニングに基づく授業改善を続けていく。課題解決型学習を最低1単元ごとに1回以上行う。 ・合わせて、ユニバーサルデザインの考え方を教室環境や授業づくりを生かすための研修と実践を行う。 ・全県や全国の学力調査結果の分析結果を全教職員で共通理解して、各教科の授業に生かしていくことで、学力差を縮め、下位層を減らすことを図る。(早期に学年会や校内研修を実施) ②家庭学習強化週間に対する温度差を減らすために、1学期の取り組みの様子など具体的にお知らせし、協力(協働)を働きかけていく。 ・日常の学習時間増加のための方策を練る。
			(2)自分の考えを書き、説明する活動を取り入れた授業を実施する。(アクティブラーニングを意識して)	A: 全員実施 B: 80~99%実施 C: 70~79%実施 D: 70%未満	●ほとんどの教員が意識して取り組めている	※確認事項 (1)について、「めあて」は「授業内容」ではなく「キャリア教育」へ移動 →(2)の取り組み指標「学期に1回」を「単元ごとに1回以上」に変更		
			(3)家庭学習の強化期間にあわせて保護者による宿題の確認を行う。	A: 期間中すべて確認 B: 80~99%実施 C: 70~79%実施 D: 70%未満	●全教職員で声掛けをして取り組むことができた。 ●学級担任は、毎日チェック表を使って家庭学習の様子を確認しながら進めることができた。			
			(4)地域人材を活用した授業を行う。(教科・キャリア教育・職場訪問・職場体験など)	A: 全学年実施 B: 80~99%実施 C: 70~79%実施 D: 70%未満				
<b>&lt;徳&gt;</b> <b>人間関係</b> <b>力の向上</b>	①Q-U調査で学級満足群70%以上をめざす。 ②あいさつ・言葉づかい運動を行う。	学校 家庭 地域	(1)Q-U調査に基づく、学級のルールとリレーションの確立を図る学級活動を行う。	A: 全学年実施 B: 80~99%実施 C: 70~79%実施 D: 70%未満	●班活動を中心に据え、学級の自治的活動の充実に取り組んでいる。 ▲Q-U調査の結果が7月に出たため、結果に基づく学級活動は、1学期ほとんどできていない。	①「学校は楽しい」と回答 1年95% 2年80% 3年89%	①生徒会を中心に自治的活動は進んでいる。体育大会など大きな行事を通して学級内のリレーションもできつつあるが、問題意識の高い生徒ほど「学級不満足」になる傾向もある。 ②-1「あいさつ・言葉づかいができた」と回答 1年50% 2年38% 3年45% ②-2「家庭内コミュニケーションが毎日とれた」と回答 1年52% 2年40% 3年43%	
			(2)あいさつ・言葉づかい運動を生徒会と連携して取り組む。	A: 全学年実施 B: 80~99%実施 C: 70~79%実施 D: 70%未満	●生徒会執行部および生活委員会の活動として毎日あいさつ運動を行っている。部活動においても、あいさつ指導を行っている。 ▲言葉づかい運動については、1学期中はほとんどできなかった。	②-1あいさつ運動は充実したものになっており、あいさつをする生徒は増えつつあるが、言葉づかい運動は今後の取り組みである。 ②-2家庭内で毎日コミュニケーションがとれている生徒は約半数である。 ②-3地域のあいさつはよくできているようである。		
			(3)親子の家庭でのコミュニケーション強化期間を設定する。	A: 期間中すべて確認 B: 80~99%実施 C: 70~79%実施 D: 70%未満	●学級通信や学年通信を通して家庭内コミュニケーションを促した。また、家庭学習強化ウィークの取り組みでコミュニケーション強化を図った。	※検討課題 Q-U調査の2回目の時期をいつにするか		
			(4)地域で子どもたちを見たらあいさつをする。	A: 期間中すべて確認 B: 80~99%実施 C: 70~79%実施 D: 70%未満	●PTA活動の登下校指導などで地域の方との連携を図り、その中であいさつ運動を行っている。	→達成指標②を変更 学校アンケートのあいさつ・言葉づかい、コミュニケーションの項目で肯定的回答80%以上 →重点的取組(4)の「地域」は削除する。ただし、今後もPTAに協力をお願いしていく		
<b>&lt;中高一貫&gt;</b> <b>キャリア</b> <b>教育の充</b> <b>実</b>	①キャリア教育の充実を図る ②乗入れ授業の実施と基礎学力の定着 ③将来にわたって元気にすごせる健康・体力の充実	学校 家庭 地域	(1)キャリア読書の充実を図る。	A: 期間中すべて実施 B: 80~99%実施 C: 70~79%実施 D: 70%未満	●担当教員は全員取り組めた	【1学期】 ①-1「キャリア読書に取り組んだ」と回答 1年54% 2年44% 3年44%	①時間は確保しているが、取り組みに差があった。しっかり読んでいる生徒は、大切な個所にラインを引きながら読んでいた。 ②乗入れの高校の先生に対して質問するなど、積極的な生徒の姿も見られた。 ③生徒会活動として全員で楽しく取り組んでいた。	
			(2)教養について基礎学力の定着。個別の支援を行い、定着の確認を図る。	A: 期間中すべて確認 B: 80~99%実施 C: 70~79%実施 D: 70%未満	(乗入れ授業) ●個別の支援に努力できた	①-2「面談やアンケートで進路について考えた」と回答 1年34% 2年38% 3年43%		
			(3)体力向上「1校1実践」に取り組む。		(体力向上) ●生徒会活動と連携して進めている「外で遊ぶデー」「ミニクラスマッチ」など			